

会報

No. 31

平成5年9月1日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都市立図書館内
TEL(075)771-0069

平成五年度

京都府図書館等連絡協議会定期総会開催

六月三日、今年度の総会が京都市青少年活動センターにおいて開催されました。

はじめに、橋本会長の挨拶、続いて東宇治図書館の森田暉館長を議長に選出して議事が進められ、事務局から提案のあった議案を原案どおり承認しました。

討論の中では、研修研究活動が活発になってきており、どの研修会も予定を上回る参加が得られたことや、要望活動の成果が具体的にあらわっている例等があげられ、また更に問題を持つての委員会への積極的参加、図書館のニーズに応える体制の強化などが、今後の更なる充実発展への課題として提起されるなど、総会は積極的・意欲的なものとなり京図連の活動の成果が確認されました。

そして、そのことから分担金引きあげを引き続き申請すべきだとの意見も出され、今年度の再申請が決まりました。

総会終了後、今年度の職員表彰が行われ、図書館活動に対し功績のあった九名の方が表彰されました。

午後には岩崎書店編集部長、日高充宜氏を講師に迎え、「公共図書館に望むこと―児童図書編集者からみ

て」と題する講演会を持って、研修を深めました。



会長挨拶

橋本 實

本日、平成5年度の定期総会を開催しましたところ、皆様方にはお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。



さて、昨年度における府内の図書館活動の状況につきましては、この後、事務局から会務報告等により報告がありますので、詳しくは申しませんが、府内においても、施設面や奉仕面において明かるいニュースが多かったのではないかと存じます。

また、昨年は日本図書館協会創立百周年の年でもあり、当協議会においても、その協賛事業として「京都図書館大会」が館種を越えた多数の参加者によって開催でき、図書館間の連携が住民サービスにとって必要であるという重要性が認識されたのではないかと存じます。

その他、現在各館がかかえている問題もたくさんあると思います。

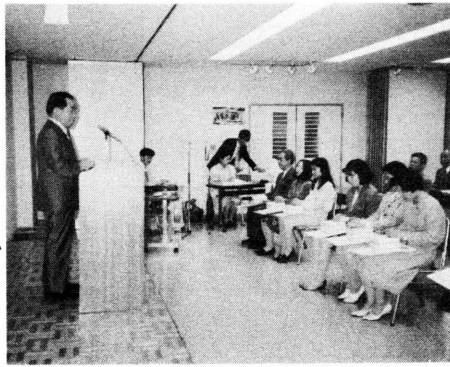
特に職員の週休二日制の問題、つまりこの制度の導入による職員の配置、あるいは、休館日の増加など課題も多くなってくるものと思います。

昨年の総会で分担金の増額について皆様方よりご承認をいただき、府市町村法令外負担金等審議会に申請をしておりましたが、残念ながら不承認ということになり申しわけなく存じております。

しかし、京都府においては、すでに増額をしていたいただいておりますので、今年度においても再度申請いたしますので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

平成五年度表彰者

松屋 勇雄 元京都市北図書館
 竹村 佳子 京都市中央図書館
 村西 榮美 〃
 原田 幹子 京都市伏見中央図書館
 平場 澤 京都市北図書館
 菅原 東 城陽市立図書館
 田中 幸枝 元加茂町立図書館
 栗林さよ子 亀岡市立図書館
 長谷川和代 京都府立総合資料館



第一回理事会報告

平成五年度第一回理事会が、四月十五日府立図書館で開催されました。先ずはじめに、今回の人事異動による理事の異動と、それに伴う広報

委員長の異動が承認されました。

引き続き、平成四年会務報告収支決算報告および平成五年度事業計画(案)・予算(案)ならびに平成五年度定期総会等について協議されました。

京都府内の図書館の発展段階の違いが大きくなる中で、要望活動についても、再度、中味や方法を考えなおしていく必要があることが確認されました。

今年度の表彰者については、推薦のあった者の内、九名を決定しました。

役員等の異動

理事

新 松田 幸雄
 (加茂町立図書館)

広報委員長

旧 田中 幸枝
 新 北尾 辰雄
 (久御山町立図書館)
 旧 田中 幸枝

館長の異動

京都市伏見中央図書館

京都市左京図書館

新 野村 牧男
 旧 古川 勝

京都市東山図書館

新 高橋 徹夫
 旧 田中 敏子
 新 前田 泰宏
 旧 吉村 義夫

京都市山科図書館

新 浅田 勲
 旧 東 靖麿

京都市南図書館

新 福富 規之
 旧 野村 牧男

長岡京市立図書館

新 安岡 義隆
 旧 小泉 浩史

加茂町立図書館

新 松田 幸雄
 旧 田中 幸枝

綾部市図書館

新 河崎 雪雄
 旧 上原 繁雄

舞鶴市立東図書館

新 嵯峨根行雄
 旧 稲葉 優適

舞鶴市立西図書館

新 谷 慎一郎
 旧 嵯峨根行雄

京都ライトハウス点字図書館

新 水口 武夫
 旧 上村 邦夫

近公図研究集会日程

○奉仕部門研究集会

平成五年十一月五日(金)

京都 平安会館

○整理部門研究集会

平成五年十二月十日(金)

滋賀県

○参考事務部門研究集会

期日未定

大阪市

○児童奉仕部門研究集会

期日未定

和歌山県

全公図研究集会 開催地

○整理部門研究集会

五年九月十六・十七日 新潟市

「総合目録の作成と課題」

○奉仕部門研究集会

五年十月二十八・二十九日

「届けていますか・図書館サービス」

「移動図書館・協力事業分科会」

○移動図書館・協力事業分科会

五年十月二十一・二十二日

「生涯学習を支援する相互協力と移動図書館」

五年九月二十九日～十月一日

「生涯学習を支援する相互協力と移動図書館」

○全国図書館大会

五年九月二十九日～十月一日

「生涯学習を支援する相互協力と移動図書館」

五年九月二十九日～十月一日

日本図書館協会主催

「町村図書館づくりセミナー」

「町村図書館づくりの基本的な考え方、具体的な方法について、先進図書館を実際に見ながら研修する」

「町村図書館づくりセミナー」が、

京都で開催されます。

期日 十月二十六日(火)～二十七日(水)

会場 京都厚生年金休暇センター

田辺町立中央図書館

木津町中央図書館

木津町中央図書館

木津町中央図書館

木津町中央図書館

木津町中央図書館

リ ニ ュ ー アル オ ー プ ン

京都市山科図書館

今年の五月十九日、山科図書館がリニューアル開館しました。

昭和二十七年に誕生の歴史をもつ図書館ですが、今回、山科警察署跡に他の施設との合同の建物として、鉄筋コンクリート四階建の四階部分に新山科図書館が造られ移転しました。

福祉施設との合同センターであり、京都市の地域図書館としては、初めて視覚障害者のための対面朗読室を設け、車椅子でも館内利用がしやすいように書架の間隔を広くするなど、体のご不自由な人も利用していただけるよう配慮しています。

館内は、全面フローリング仕上げで、トップライトや大きなガラス扉を設けて、自然外光を十分にとり入れています。

また、屋外には樹木を植え、ベンチを配置して読書できるスペースを確保し、明るく、開放的な雰囲気をつくり出しています。

幼児コーナーは、二十一畳の畳敷きの広いコーナーに魚型の大きな机を二台備えており、親子の読み聞かせなどに、自由に利用されています。

また、コンピュータを導入して、図書の貸出しや返却の迅速化をはかり、図書の検索などのサービスを充実させています。

蔵書は、現在約四四、〇〇〇冊を有していますが、将来は五七、〇〇〇冊を予定しています。

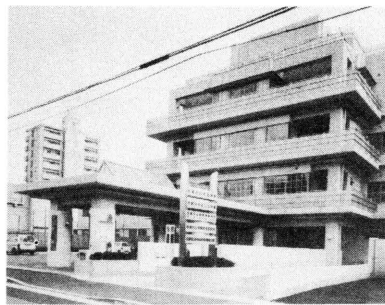


図 書 館 め ぐ り

八幡市立男山市民図書館

男山市民図書館は八幡市の第二番目の図書館として、平成三年十二月に男山団地南部の近隣地区に建設しました。

この図書館の建設は、これまでの八幡市民図書館が市域の北部にあり、

男山地域からの利用が非常に不便であったために、かねてより市議会や図書館協議会をはじめ関係者から図書館の開設を要望されておりました。

この図書館は男山地域の文化活動を推進する目的で、男山文化ホールの一階に開設しました。

図書館の規模は約4㎡で、このうち閲覧室は約五百二十㎡の広さで、そこに約四万冊の図書を収容しております。

閲覧室の配置は入り口に近くとこゝろに児童コーナーを置き、その奥に成人と参考のコーナーを設け、室の東南側は全面がガラス壁で自然の光を充分に取り入れており、明るい雰囲気の中で暖かさゆとりを持たせているのがこの図書館の特色で、とくに表紙が見える絵本架や背の低い書架を多く置いて、室内の空間を広くとっております。

開館一年間の活動の成果は貸出冊数が五十二万冊で、これは八幡市の全貸出数の六十二％に達しています。

このように利用が多くなったのは、図書館の場所が市民の生活動線内にあり、街角の図書館として気軽に利用してもらえることで、図書館の近隣地域の人々の約半数が利用登録者であります。とくに子供たちの利用が多く、小学生では約九割に達しております。

研 修 報 告

「公共図書館におけるコンピュータ導入」の研修会に参加して

長岡京市立図書館 法貴 隆司

「公共図書館におけるコンピュータの導入」と題して、宇治市中央図書館の石沢館長にお話しいただいた。

話は、パソコン、オフコン、汎用機、ワークステーションの違いや特性といった一般的な説明から始まり、初心者にもわかるよう工夫された話であった。

宇治市中央図書館では、今年になって機械を更新されたので、その経過も話された。

それは、打ち合わせは一週間に一回のペースで行い、その準備や業務



内容の検討を開館しながら行わなければならなかったもので、非常に忙しかったこと。打ち合わせをしているときには、気がつかなかったことや、当然パッケージプログラムに含まれているはずだと思っていたことが、いざ稼動してみるとできない。そのことをメーカーに言うところ

「それは改造ですから有料になる。」と言われたそうで、こういうことのないように十二分に検討し、他館での様子を十分聞く必要がある。

ただ、これらは細かい点なので、図書館業務に重大な支障をきたすものではない。

図書館にコンピュータが導入されて以来十数年が経過し、各メーカーとも図書館に対しての知識を十分持っている、ある程度の納入実績を持っているメーカーであれば、十分に使用に耐えうるということである。

石沢館長の話し方がうまく、なおかつ中味が濃かったもので、参加者にとって有意義な一日であったろうと思われる。

「ヤングアダルトサービス」の

研修会に参加して

宇治市東宇治図書館

築紫 巧

三月二十六日に京都市青少年活動センターで開かれた、京図協研修会

に参加しました。

内容は、前半が「ヤングアダルトサービスの実態とこれからの方向をさぐる」をテーマにしたディスカッションで、後半は京都外大の井上靖代講師による「ヤングアダルトサービス実態調査を終えて」と題しての講演でした。

参加館のサービスとして多かったのは、コーナーや書棚を決めてヤングアダルト向けの図書を並べているケースでした。

また、井上講師による「ヤングアダルトサービスをするには、場所・本・人・プログラムの四つが必要である」という、集約された調査結果に基づいての講演がありました。

つまり、①設置場所は成人室もしくは、成人室の近くに設けたい。これは児童の延長ではなく、成人の一手前として捉える必要があるから。

②ヤングをコーナーに引きつけるにはプログラムが大切で、ただ置いておくだけでは活用されない。

だから、ヤング対象の講演会・作品作者の人気投票・落書ノートなど参加させる働きかけが必要、などが大意だったと思いますが、今後のサービスの進め方を考える一助になりました。

専門委員会ニュース

〔研修研究委員会〕

今年度の研修・研修について今年度も昨年度以上に充実した研修・研究をと する七月十四日研修研究委員会を京都市北区のライトハウスで開催しました。

今年度は、各グループの活動とあわせて二年ごとに開催する「一泊研修」を準備しなければならず、各委員多忙な業務のなか取りくんでいますが、研究・研修活動の一層の発展のため関係各位のご協力をよろしくお願いいたします。

委員会でもまとまりました今年の予定を簡単にお知らせ致します。

■電算グループ■

○図書館コンピュータシステムの手引書の作成を検討する。

■児童奉仕■

○図書館の児童奉仕実態調査の実施
○京庫連との交流研修の開催

■障害者奉仕■

○障害者サービス実態調査の実施
(八月末提出・その後集計・分析)

○先進的な障害者サービスを行っている図書館の見学

■参考業務(未定・引続いて検討)

■「一泊研修」■

十一月十八、十九日、舞鶴市で開催

「内容」 住民に対して公立図書館がどのような任務を果たすべきなのか、そして実施するサービスの目標はどこにあるのかを、図書館サービス・図書館資料・相互協力等図書館活動の全般にわたって明らかにした日図協政策委員会一九八九年公表の「公立図書館の任務と目標」の研修を日図協の協力を得て行う。

講師は日図協政策委員会のメンバーが当たる。(委員長 塩見昇)

また、この中で、府下の図書館サービスの事例報告・研究協議なども取り入れ充実した研修内容としたい。

〔相互協力委員会〕

順調に進む目録改訂作業
相互協力委員は、昨年度と今年度の事業として、「京都府公共図書館等所蔵雑誌・新聞総合目録」の改訂作業に取り組んでいます。

六月に改訂のための調査を実施しましたが、加盟館を始め、各館のご協力により順調に調査票の回収が進んでいます。

現在の作業状況は、府立分の原稿作成とワープロ入力。市町村分の原稿作成に取り組んでいます。

「訂正とお詫び」

前号の中で、京都市洛西図書館のオーブンが昭和六十三年とありましたが、昭和六十二年の誤りです。訂正してお詫び申し上げます。